

第104回小金井市新型コロナウイルス感染症対策本部会議録	日時	令和4年1月4日(火) 9:25~9:45	場所	議場
出席者	西岡市長、住野副市長、大熊教育長、天野企画財政部長、高橋庁舎建設等担当部長、加藤総務部長、西田市民部長、中谷福祉保健部長、大澤子ども家庭部長、柿崎環境部長、若藤都市整備部長、大津学校教育部長、藤本生涯学習部長、北村議会事務局長、梅原企画政策課長、廣田広報秘書課長、堤新型コロナウイルス感染症対策担当課長、宮奈地域安全課長、亀山地域安全係長			
付議事項	1 新型コロナウイルス感染症への対応について 2 各部連絡事項			
資料				
<p>(進行：福祉保健部長)</p> <p>(市長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年末年始においてもコロナ担当職員及びコロナワクチン担当職員については、保健所や医師会との連絡調整を図っていただき感謝申し上げます。現在、第6波の到来、オミクロン株の感染拡大という厳しい局面を迎えているが、今こそ基本的な感染症対策が重要であり、引き続き、庁内のみならず市民への呼びかけを徹底していく。</li> <li>・ワクチン接種と並行して経口薬の投与も開始された。3回目のワクチン接種については、医療従事者から高齢者へフェーズが移行し、本市においては1月19日より保健センターでの接種が開始となる。これは本市独自の前倒し策であり、少しでも早く接種をしたいという市民の要望に応えるものである。経口薬については既に市内薬局に届いており、このために24時間体制を組んでいる薬局もあり、本市における準備を進めていただいている。</li> <li>・経済対策について、明日から PayPay の利用により1万円を上限に最大30%が還元される経済対策がスタートする。市内約600店舗での利用が可能であり、1人でも多くの市民に知ってもらうため情報発信に力を入れ、事業者支援、市民生活支援、地域経済の活性化につなげていく。</li> </ul> <p>1 新型コロナウイルス感染症への対応について</p> <p>(健康課長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1月1日付けの発表では本市においても、久しぶりに1名陽性者が発生している。</li> </ul> <p>(新型コロナウイルス感染症担当課長) ワクチンの接種状況及び今後の予定について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・12月中に2回目接種から8か月を経過した人については、12月27日に予約を開始し、1月8日から市内19医療機関での接種がスタートする。</li> <li>・1月時点で6か月を経過した医療従事者に、1月5日付けで接種券を送付する。</li> <li>・2回目接種から7か月を経過した高齢者一般の3回目接種を開始する、1月11日に接種券を発送し、保健センターでの接種が1月19日から、医療機関での接種が1月25日に予約開始となり2月1日から接種を開始する。</li> </ul>				

- ・ワクチンの役割分担について、ファイザーが医療機関と保健センターの土曜日実施分、モデルナが保健センターの水・木実施分と2月からの旧西友での実施分となっている。

## 2 各部連絡事項

(総務部長)

- ・職員の感染状況について。年末年始陽性者の報告はなかったが、検査は数件あったと聞いている。オミクロン株の市中感染を踏まえ、都からメッセージが発信されるようであれば、庁内向けの通知を検討する。

(企画政策課長)

- ・都より地方創生臨時交付金の実施計画についての照会が来ている。本日付けでCナビに掲載するため、交付金の活用について検討いただきたい。庁内締切は1月11日とする。

(市長)

- ・地方創生臨時交付金については有効な活用を検討していただきたい。
- ・医師会等とのワクチン連絡会が1月7日に予定されている。5～11歳の接種が始まることも踏まえて、今後は子ども家庭部長や学校教育部長にも出席願いたい。

(副市長)

- ・今すぐではないが、本市がこれまでコロナ対策で行ってきた施策を総括していきたい。将来的に再び感染症が流行したときへの教訓として重要なことであり、かつては東北での震災の際、応援を行った自治体が将来への備えとして記録を作ってきた。いずれ感染状況が落ち着いたら議論する場を設けたい。(以上)